

小樽市立中学校の学習課題（1年生）

5月18日（月）～5月22日（金）

【国語】

<内容> ○教科書の「花曇りの向こう」（26～32ページ）を読んで、時・場所・登場人物を確かめましょう。（前回と共通）

<取り組み方>

- ① 「花曇りの向こう」を音読しましょう。
ア) 音読教材から「花曇りの向こう」を聞いてみましょう。
https://www.mitsumura-tosho.co.jp/oshirase/shien_taio/c_kokugo/1/index.html
※上のアドレスをコントロールキーを押しながらクリックし、「花曇りの向こう」の音読教材をクリックしてください。
イ) 「花曇りの向こう」を音読してみましょう。
 - ② 前回分けた四つの場面の「時」「場所」「登場人物」について、分かることをノートに書き出してみましょう。
 - ③ ②で分けた四つの場面が会話文から始まっていることに注目して、「誰が・いつ・どこで・誰に」かけた言葉かを考え、ノートにまとめてみましょう。
- （振り返り）
- ④ ②で考えた「時・場所・登場人物」を意識しながら「花曇りの向こう」をもう一度音読しましょう。

※ 無理のないように、計画的に取り組みましょう！

小樽市立中学校の学習課題（1年生）

5月18日（月）～5月22日（金）

【社会】

◆課題1

下にあげた国々は、それぞれ何州に属していますか。下の例のようにノートにまとめてみましょう。地図帳が手元にはない人は教科書11、42、58、68、82、94、104ページを参考に組み組んでください。また、これらの国々の場所を地図帳などで確認しておきましょう。

アメリカ合衆国 アルゼンチン イタリア イラン インド エチオピア
オーストラリア オーストリア オランダ ガーナ カナダ ケニア
コロンビア サウジアラビア ジャマイカ スイス スペイン タイ
大韓民国 中華人民共和国 チリ ドイツ ニュージーランド
フランス ブラジル ベトナム ペルー マダガスカル マレーシア
メキシコ モロッコ モンゴル

例：

アジア州	アフリカ州	ヨーロッパ州 . . .
日本 ・ ・	南アフリカ共和国 ・ ・	イギリス ・ ・

◆課題2

ロシア連邦のように、2つの州にまたがっている国もあります。ロシア連邦は何州と何州にまたがっているか、調べてノートに書きましょう。また、ロシア連邦の他にも2つの州にまたがっている国が4カ国あります。それらを地図帳などで探し、何州と何州にまたがっているかノートにまとめてみましょう。（できるだけたくさん見つけてみましょう）

◆課題3

教科書22ページを参考に、ノートに世界地図の略地図を書いてみましょう。その際、「赤道」「本初子午線」「180度の経線」を先に書いてから始めてみましょう。

小樽市立中学校の学習課題 (1年生)

5月18日(月)～5月22日(金)

【数学】

【学習内容】 1章「正負の数」 3節 乗法と除法

1 乗法 (教科書29～31ページ)

(1) 教科書29ページを読んで、学習しましょう。

① $(+4) \times (-2)$ の答えはいくつになるかな？

⇒ 東への移動を正の数、西への移動を負の数で表すことにする。

かけられる数の $(+4)$ は

東へ向かって歩く速さが時速4km

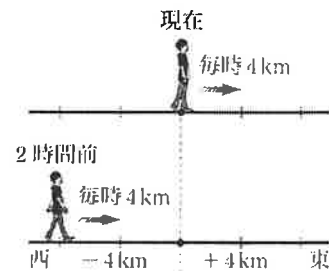
かける数の (-2) は

現在より2時間前を表しているとする

結果は、右の図より、現在の位置から

西へ8kmの地点にいたことになるから

$(+4) \times (-2) = -8$ となる。



まとめ (正の数) × (負の数) のかけ算の答えは、負の数になる。

② 練習問題として、30ページ問2をやってみましょう。

(2) 教科書30ページを読んで、学習しましょう。

① (負の数) × (正の数) の答えは、正の数、負の数のどちらかな？

⇒ 30ページ問3をやってみましょう。

(ヒント) 西へ向かって歩く速さが時速4kmだから、かけられる数は

(-4) だね！ 2時間後は $(+2)$ だから・・・

② (負の数) × (負の数) の答えは、正の数、負の数のどちらかな？

⇒ 30ページ問4をやってみましょう。

まとめ かけ算のことを乗法という。乗法の結果が積である。

(負の数) × (正の数) の乗法の積は、負の数になる。

(負の数) × (負の数) の乗法の積は、正の数になる。

(3) 教科書31ページの練習問題をやってみましょう。

① 正負の数の乗法の計算のしかたを、29、30ページをもとにまとめると、次のようになる。

まとめ

<small>プラス</small>	<small>プラス</small>	<small>プラス</small>	<small>マイナス</small>	<small>マイナス</small>	<small>プラス</small>
$(+)$	\times	$(+)$	$=$	$(-)$	\times
<small>プラス</small>		<small>マイナス</small>		<small>プラス</small>	$=$
$(+)$	\times	$(-)$	$=$	$(-)$	\times
<small>プラス</small>		<small>マイナス</small>		<small>プラス</small>	$=$
$(+)$	\times	$(-)$	$=$	$(-)$	\times
<small>マイナス</small>		<small>プラス</small>		<small>マイナス</small>	$=$
$(-)$	\times	$(+)$	$=$	$(-)$	\times
<small>マイナス</small>		<small>プラス</small>		<small>マイナス</small>	$=$
$(-)$	\times	$(+)$	$=$	$(-)$	\times

② 31ページ例1をノートに写し、たしかめ①をやってみましょう。

③ 31ページ例2をノートに写し、たしかめ②をやってみましょう。

④ 練習問題として、31ページ問6、問7をやってみましょう。

振り返り 負の数を使った乗法の計算をするときに、大事なことは何だと思いましたか。ノートに書いてみましょう。

小樽市立中学校の学習課題（1年生）

5月18日（月）～5月22日（金）

【理科】

<学習内容>

◆「3章 水溶液の性質」（教科書147～155ページ）

(1)「3章 水溶液の性質」（147～155ページ）を読みましょう。

(2) ノートにまとめてみましょう。

- ・重要語句（太文字）を中心に自分のオリジナルノートを作りましょう。
- ・[考えてみよう]に挑戦してみましょう。
- ・何がわかって、何がわからなかったかを振り返りましょう。

(3) 理解したか確認しよう。

- ・マイノート15、50、51ページをやってみましょう。
- ・その他の問題にもチャレンジしましょう。（ワークや問題集に挑戦しましょう。）

※以下は1日の学習の目安です。

- ① 1日見開きの2ページ使います。
- ② 左側は教科書を参考に、自分でまとめます。
- ③ 右側は自分で考えたことや1日の学習の振り返りを書きます。

【ノートの例】

学習日と時間を記入

5/18
10:00～10:45

3章 水溶液の性質

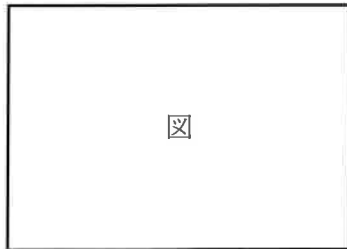
①物質のとけ方

【重要語句】

溶質～
溶媒～
溶液～
水溶液～

重要語句のまとめ

粒子モデル



自分で大事と思うところをまとめよう。

図や表、グラフを使ってまとめよう。

考えてみようは難しいけれど挑戦してみてください。

P149

考えてみよう

硫酸銅が水にとけていくとき、水溶液の濃さのちがいは何によって生じるのか。図32のモデル図で考えてみよう

自分の考え

学習を振り返ろう。

●今日の学習の振り返り

溶かす物体の溶媒や溶ける物質の溶質という言葉を学んだ。粒子モデルの意味があまりよくわからなかったので、学校が始まったら、先生に聞いてみようと思う。

小樽市立中学校の学習課題（1年生）

5月18日（月）～5月22日（金）

【英語】

<学習内容>

◆Power-Up① Writing 単語・文の書き方

できるようにすること 単語・文の書き方のルールを身に付ける。

取り組むこと

- (1) **書く** 28ページの◇と◇の単語・文を、正確にノートに書き写しましょう。
- (2) **覚える** 次の主なルールを覚えよう。(1～4は28ページに書いています。)
 1. 1と2の最初の文字は大文字で書きます。
 2. 文の最初の文字は3で書きます。
 3. 文の終わりには4を付けます。

チャレンジ! 自分の名前、知っている単語をノートに書いてみましょう。

◆Word Web 1 数の言い方

できるようにすること

1. 数字を正しく読んだり、書いたりできるようにする。

取り組むこと

- (1) **読む** 29ページの①英語の数、②数字を含む表現を声に出して読んでみましょう。

👉 読めない時は、その単語に線を引いておきましょう。

(わからなくても、予想して読んでみるのが大切です!)

チャレンジ 身の回りにある商品の値段を見つけて、英語で言ってみましょう。
(お家の人がいれば、聞いてもらいましょう。)

◆Program3①② Basic Dialog (ベーシックダイアログ)

できるようにすること

1. 自分の好きなことや、ふだんすることを言えるようにしよう。
2. 相手の好きなものについてたずねたり答えたり、自分の好きでないものを言ったりできるようにしよう。

取り組むこと

- (1) 30ページの「Basic Dialog」の会話文を練習しましょう。

- ① **読む** どんな場面での会話なのか考えてみましょう。
- ② **話す** 各パートの人物になりきって、声に出して言ってみましょう。
👉 大きな声で、堂々と言ってみましょう。(間違ってもOK!)
👉 読めない時は、その単語に線を引いておきましょう。

チャレンジ! できればお家の人と一緒に会話練習をやってみましょう!

※ 無理のないように、計画的に取り組みましょう!